

経営比較分析表（令和元年度決算）

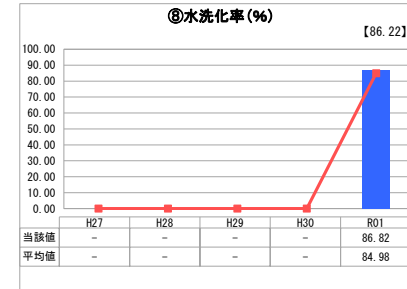
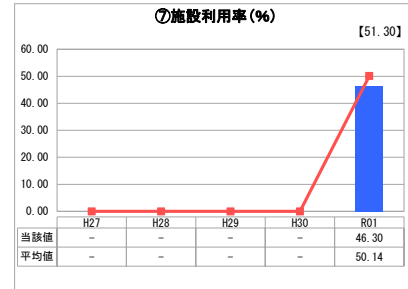
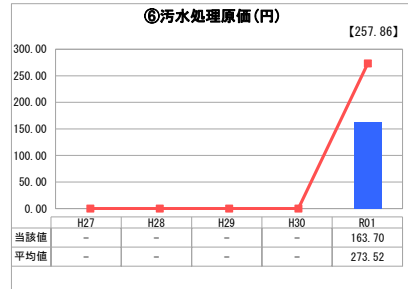
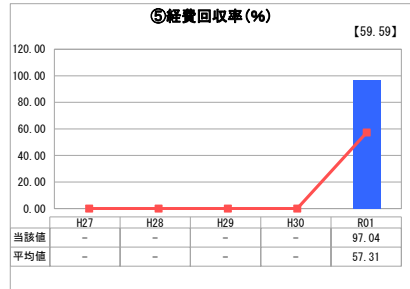
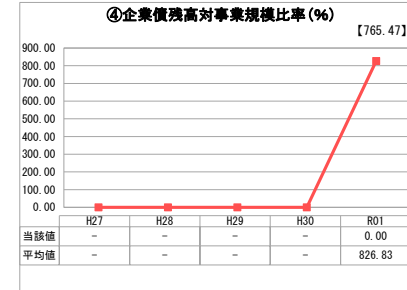
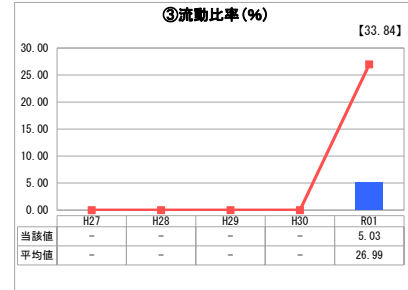
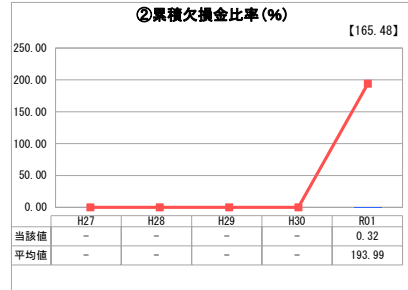
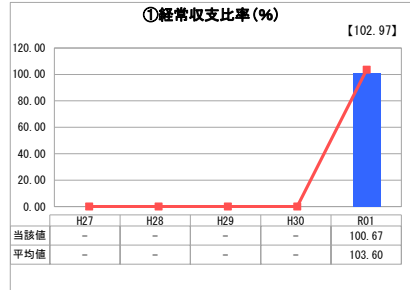
石川県 志賀町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	51.72	27.99	96.83	3,300

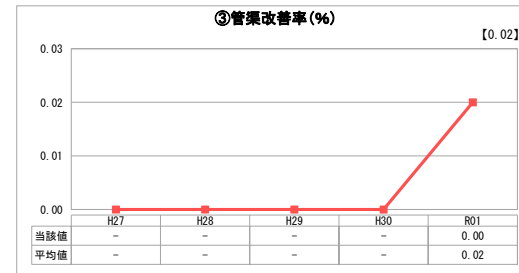
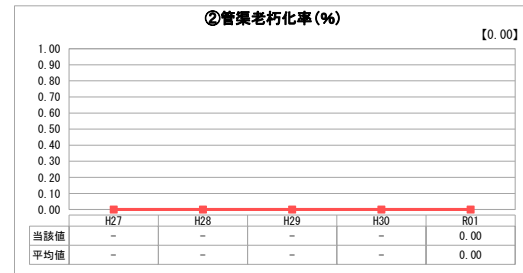
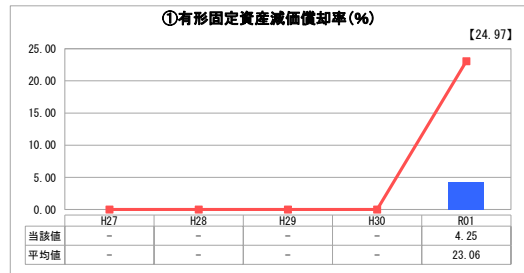
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,023	246.76	81.14
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,554	5.46	1,017.22

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成31年4月から公営企業法を適用し、特別会計（法非適用）から地方公営企業会計（法適用）へ移行したため、元年度単年の指標となっている。

①経常収支比率
指標は100%を超えているが、町からの繰入金に頼る面が大きい。今後も維持管理費等の抑制に努める。

③流動比率
経営戦略に基づき、将来に向けた下水道使用料金の見直しに取組み、また効果的・効率的に企業債を借入れながら、単年度における収支バランスを図っていく。

⑤経費回収率
類似団体平均値と比較高い数値となっており、回収率は前年度よりも上昇している。今後も更なる汚水処理費の削減を図りながら経営改善に努めていく。

⑥汚水処理原価
類似団体平均値と比較低い数値ではあるが、今後も経営安定化を図るため、維持管理費の抑制に努める。

⑦施設利用率
類似団体平均値と比較低い数値となっているが、人口減少によるものと推測される。今後は、経営効率化に向け、施設の統廃合を検討していきたい。

⑧水洗化率
類似団体平均値とほぼ同じ値であるが、今後も未接続者に対し、早期接続を促していく。

2. 老朽化の状況について

町内16カ所の処理場は、供用開始後20年以上を経過した施設が大半を占めている。特に場内に設置されている設備機械は、耐用年数が経過しているものも多い。このことを踏まえ、町では平成24年度に策定した「最速整備構想計画」に準じて処理施設の改修を順次行っている。

また、併せて施設の統廃合も考慮しながら整備を進めている。

全体総括

令和元年度は、地方公営企業会計に移行したことから、経営状況や財政状態が明確となった。
農業集落排水事業は、町内に16カ所が整備済であるが、事業の性格上、中山間部の集落が大部分のため、高齢化・人口減少に伴う経営の悪化が危惧されている。

このことから、持続した経営の安定化を維持するため、将来的に公共下水道や隣接処理区との統廃合を図り、下水道事業全体の維持管理費の削減を実現し、経営の安定に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。